



学べる薬局

# しゅうじつ薬局だより 第5号

令和元年 12月



## 公衆衛生 ～ノロウイルスによる食中毒について～

◆ 就実大学薬学部 吉川 弥里

厚生労働省発表の食中毒統計を見てみると、20年前と比較して近年の患者数は少しずつ減少しており、1万人代前半となっています。食中毒原因物質の中で、事件数の多い上位3つは、ノロウイルス、カンピロバクター(細菌)、アニサキス(魚の寄生虫)です。ここ5年間、患者数が一番多い食中毒はノロウイルスによるもので、冬期に多く、全患者数の約半数を占めています。細菌は実験的に増殖させることが可能であり、よく研究されています。ノロウイルスはヒトの細胞でしか増殖することができないので、実験的に増殖させることができていませんでした。

しかし、昨年大阪大学が iPS 細胞によりヒトノロウイルスの増殖に成功したとのニュースが出ました。これにより、ノロウイルスに対する研究が進み、食中毒対策が強化され、今後日本全体の食中毒患者数の減少が期待されます。これまでは、ノロウイルスによる食中毒の原因食品は二枚貝で、特に生ガキが多かったのですが、昨今はノロウイルスを保有した調理従事者や食品製造業者が汚染した食品による食中毒が増加しています。ノロウイルスは10-100個の少量で食中毒を起こし、感染して嘔吐・下痢症状がなくなっても、その2週間後もまだノロウイルスを排出し続けています。これらのことをきちんと理解し、十分な手洗いや消毒などを行って食品汚染を防止し、食中毒を減らしましょう。

### 感染症に気を付けよう！

#### 12月はノロウイルス感染症の流行ピークです！

ノロウイルスの症状には下痢、嘔吐、腹痛、発熱などがあります。

吐き気が突発的に襲ってくるのが特徴です。

#### インフルエンザも12月から徐々に増えてきます！

インフルエンザは予防接種を受けてから抗体ができるまで約2週間かかり、

効果は5か月間持続しますので、流行前に早めに接種することをお勧めします。

#### 効果的な予防方法

- ✓ 手洗い・うがいをすることで、感染症を予防しよう！
- ✓ 普段から健康管理をし、十分に栄養と睡眠を取って抵抗力を高めておきましょう！
- ✓ アルコールを含んだ消毒液で手を消毒するのも効果的です！
- ✓ 人が多く集まる場所での感染に気を付けましょう！



- 最も不十分になりやすい部位
- 不十分になることが多い部位
- 不十分になることが少ない部位

参考: Taylor, L., Nursing Times, 74, 54(1978)

(サラヤ株式会社 HP より引用)

就実大学薬学部附属薬局  
就実大学・就実短期大学

岡山県岡山市北区田益 1291-1 TEL: 086-294-9100

岡山県岡山市中区西川原 1-6-1 TEL: 086-271-8111 (代表)